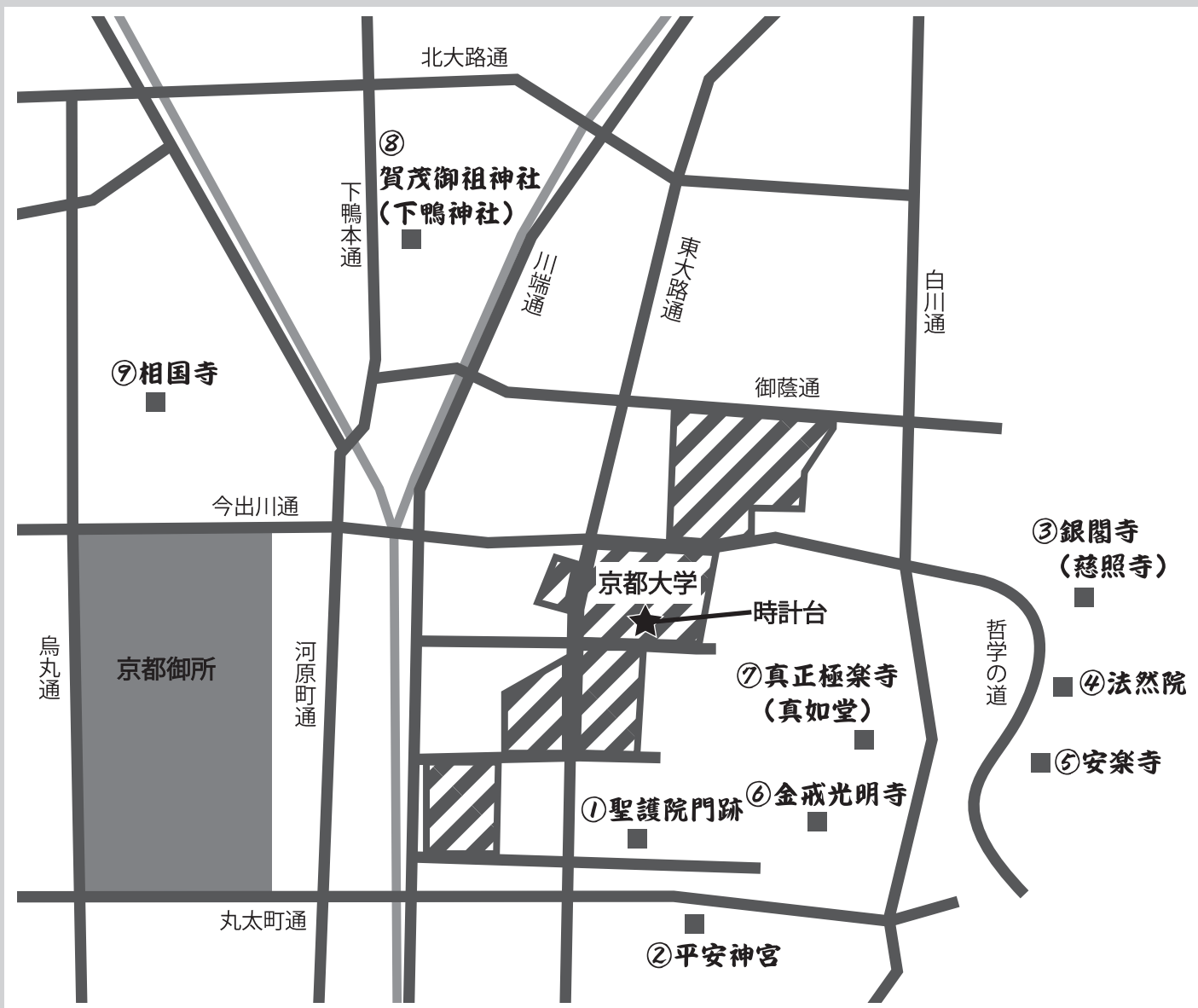




暑くて雨の日の多かった夏もそろそろ終盤に入り、秋が近づいてきました。秋はうだるような暑さがなく、熱中症の心配もほとんどないので散歩には最適な季節です。歩いてどこかに行ってみたくという方も多いと思います。そこで今回は、京大から歩いて行ける距離の寺社仏閣をピックアップし、それぞれの魅力や歴史を特集します（「歩いて〇〇分」の表記は時計台からの時間を示しています）。（真都。）



京大 南エリア

① 聖護院門跡 歩いて 12分

吉田南構内からすこし南に行ったところにある、本山修験宗総本山のお寺。聖護院大根や聖護院八ツ橋といった名称はこのお寺に由来する。本山修験宗とは、日本古来の山岳信仰・自然崇拝に端を発し、仏教（特に密教）・道教などの思想が融合して成立した菩薩道修行実践の宗派で、いわゆる山伏修行を基礎とする教えだ。門を入れて右手にお堂があり、不動明王を含め修験道に関係する仏像が祀られている。



② 平安神宮 歩いて 21分

京大の南、丸太町通に面したところにある神社。平安京遷都1100年を記念して1895年に創建された。平安京の中心施設である朝堂院を縮小して作られた社殿など、平安京の施設を厳密に考証し復元されたものになっている。平安京遷都を決定した桓武天皇、平安京時代有終の天皇である孝明天皇が祭神となっている。社殿のまわりをぐるっと囲むように神苑（お庭）が広がっており、春は桜、夏は菖蒲、秋は紅葉、冬は雪景色と季節を問わず美しい風景を楽しむことが出来る。10月には平安神宮の大祭である時代祭も開催されるので、足を運んでみてはどうだろうか。



京大 東エリア

③ 銀閣寺 (慈照寺) 歩いて 24分

今出川通をずっと東に行ったところにある、言わずと知れた東山文化を代表する建築物。足利義政により造営され、臨済宗相国寺派に属している。正式名称の「慈照寺」は義政の法号「慈照院」に由来する。

歴史の教科書によく載っている建物は「観音殿」で、義政の宗教観を反映して一層目を「心空殿」、二層目を「潮音閣」と名付け、それぞれ書院造風、禅宗様仏殿の様式になっている。境内には他にも釈迦牟尼仏が安置されている本堂（方丈）、義政の持仏（常に近くにおいて信仰する仏像）の阿弥陀如来像が祀られている東求堂がある。

観音殿はやはり写真に収めたい建築だと思う。個人的には順路の途中にある展望所（少し山を登ることになるので注意してほしい）や後半の錦鏡池のほとりがフォトスポットとしておすすめだ。また白鶴島付近から眺める東求堂もとても美しい。訪れた際はぜひチェックしてほしい。



はみだし
すてーじ

CO₂は海に吸収されるから地球温暖化は嘘だという人がいますが、CO₂が海に吸収され続けると海洋酸性化が進んでこれまた大変なことになるので、どっちにしろGXは不可避。
⇒大変な時代ですよ。

(ちなみにノウハウのない中小企業のGXを後押しするビジネスも広がっているみたいです；編)

④ 法然院 歩いて 27分

今出川通から哲学の道に沿って5分ほど南下し、東の山林の方に入るとひっそりと佇むお寺がある。それが法然院である。浄土宗開祖の法然上人が、弟子の住蓮上人・安樂上人と共に修行をしていた場所に建てられたお寺だ。風情ある茅葺屋根の山門をくぐると、左右に美しく整えられた白砂壇がある。その奥に本堂があり、本尊である阿弥陀如来像や法然上人像が安置されている。緑に心洗われたい時におすすめである。



⑤ 安樂寺 歩いて 27分

法然院からすこし南下したところにある小さなお寺。ある事件をきっかけに後鳥羽上皇の怒りを買って、死罪となってしまった住蓮上人・安樂上人を供養するために建てられた。本堂には阿弥陀五尊像が安置されており、その傍らに住蓮上人・安樂上人が祀られている。秋は紅葉が美しいことで有名だ。普段は門を閉じており、特定の日にしか拝観できなくなっているため、訪ねる際は公式サイトをよくチェックしよう。



⑥ 金戒光明寺 歩いて 16分

吉田南構内を南東、医学部構内を東に行ったところにある浄土宗のお寺。法然上人がはじめて草庵を結んだ土地に作られた。巨大で立派な装飾が施されている山門が入り口で、それを抜けると本尊である阿弥陀如来が納められている阿弥陀堂や、法然上人や文殊菩薩などの像が納められている御影堂（大殿）がある。特に阿弥陀堂の阿弥陀如来像は荘厳な雰囲気をもっており、ぜひ参拝してほしい。また御影堂のすぐ隣には、中高生の頃に一度は読んだであろう『平家物語』の一節「敦盛の最期」に登場する熊谷直実と平敦盛の供養塔があり、熊谷が出家する際に着ていた鎧を掛けたといわれる松も見ることができる。



⑦ 真正極樂寺 (真如堂) 歩いて 17分

金戒光明寺からすこし北に行ったところにある天台宗のお寺。境内には阿弥陀如来立像が祀られている本堂、その右手に三重塔、本堂の奥に庭園がある。このお寺の阿弥陀如来は「うなずきの弥陀」と呼ばれ、特に女性を救うと言われている。この本尊は通常は公開されておらず、毎年11月15日にしか見られない貴重な仏像だ。他にも特定の時期にしか公開されていない美術品・宝物が様々あるため、事前に公式サイトをチェックしておこう。



⑧ 賀茂御祖神社
(下鴨神社) 歩いて 20分

鴨川デルタの近くにあり、世界文化遺産に登録されている神社。人々の暮らしを守る神様の賀茂建角身命と、縁結びや安産、子育ての神様の玉依媛命を祭神とする。

この神社の特徴は数々のお社そして広大な「**糺の森**」を有するところにある。摂社（大きな神社の管理下であり、主祭神と関係の深い神様を祀っている神社）の1つである河合神社は女性の美しさの維持にご利益があるお社で、普段使用している化粧品でメイクを施し奉納する鏡絵馬が特に知られている。また御手洗社というお社もあり、そこでは御手洗川の水に浮かべると文字が浮かび上がる特別なおみくじをいただける。糺の森とは社殿を取り囲んでいる森全体のことを指す。平安時代以前の植生を伝えており、自然科学的にもとても貴重な森だ。青々とした木々の下には澄んだ小川が流れており、歩くだけで心が洗われる。

この神社は有名な古典にも頻繁に登場している。例えば毎年5月に行われている葵祭は、一度は読んだことがあるだろう『源氏物語』の一節「車争ひ」に登場する。加えて糺の森は『新古今和歌集』、『源氏物語』、『枕草子』などに収録されている和歌で詠まれており、古くから重要な場所だったことがうかがえる。



⑨ 相国寺 歩いて 31分

京都御所をすこし北に行ったところにある臨済宗相国寺派の大本山。臨済宗相国寺派には金閣寺（鹿苑寺）、銀閣寺（慈照寺）も属しており、ひとつの大きな宗派となっている。相国寺は足利義満により創建された。境内には、本尊である釈迦如来像や達磨像、足利義満像が納められている法堂をはじめ、竹や梅、山などが描かれた襖絵が美しい方丈、開山とされる夢窓国師像を安置している開山堂などさまざまな建造物が存在する。特に今挙げた3つの建物は通常は入ることが出来ないものの、秋の特別拝観の時期には中に入って見学することができる。境内には承天閣美術館という施設もあり、武家政権、仏教説話、伊藤若冲など様々なテーマの企画展が行われている。時期によってテーマが変わってくるので、調べてから訪ねてほしい。



気になった寺社仏閣はありましたか？ 寺社仏閣ウォーキングは運動になるだけではなく、訪れた寺社のご利益もいただけるというまさに一石二鳥の体験です。今回特集した寺社仏閣、ぜひ歩いて訪れてみてください！

